

根治切除不能または転移性の腎細胞がんに対するオプジーボ®の使用について

ヒト型抗ヒトPD-1(programmed cell death-1)モノクローナル抗体「オプジーボ®点滴静注 20mg、100mg(以下、オプジーボ)」について、「根治切除不能または転移性の腎細胞がん」に対する適応が承認されました。



腎細胞がんは、成人の腎実質に発生する悪性腫瘍です。腎悪性腫瘍の中で患者数が最も多く、毎年世界で11万人以上が亡くなっており、現在、治療歴を有する根治切除不能または転移性の腎細胞がんに対する新たな治療薬の開発が期待されています。

オプジーボ®は、腎臓がんに対する抗がん剤として使用されている血管新生阻害剤で治療をおこなったことのある手術ができないまたは他の臓器などに転移した腎細胞がん患者において生存期間の延長が期待される『免疫チェックポイント阻害剤』という抗がん剤です。

日本を含めて実施された臨床試験(CheckMate-025試験)ではオプジーボ治療群における生存期間は対照薬剤と比較して有意な延長を示しました。

非常に高額な薬剤であるため、使用にあたっては主治医と十分に相談の上、治療方針を決定してください。使用成績調査(全例調査)を実施し、安全性および有効性に関する臨床データを収集します。